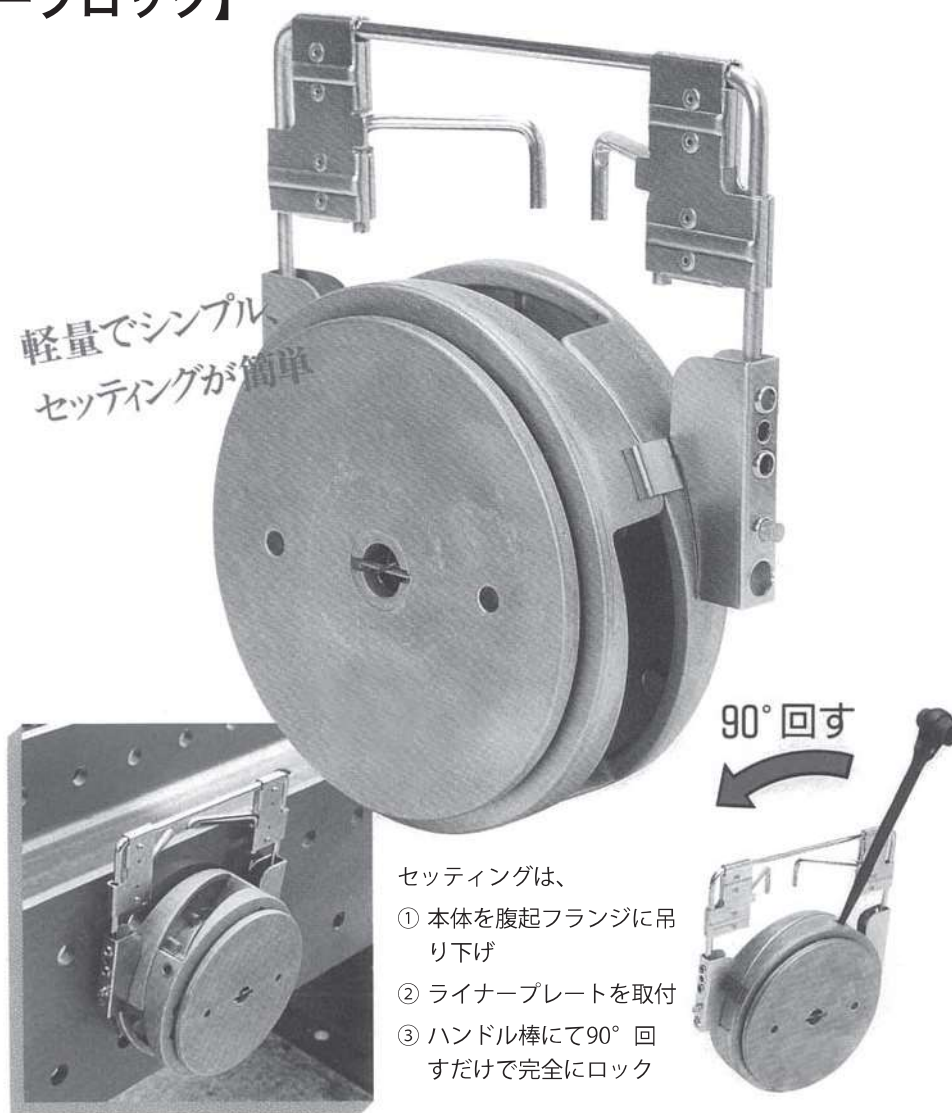


【ロータリーブロック】

軽量でシンプル
セッティングが簡単

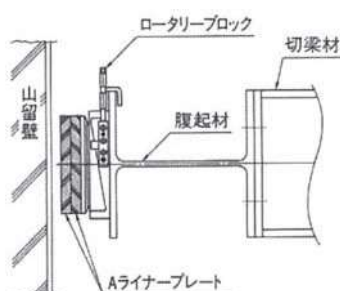
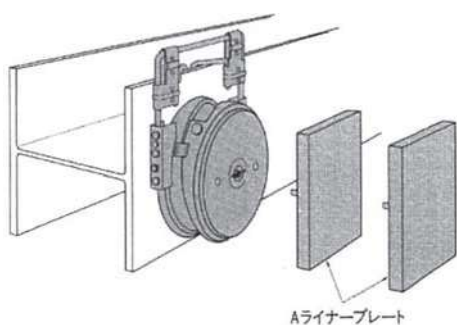
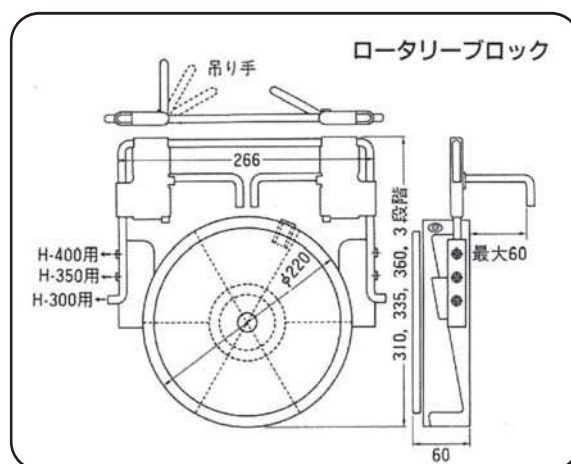


セッティングは、

- ① 本体を腹起フランジに吊り下げ
- ② ライナープレートを取付
- ③ ハンドル棒にて90° 回すだけで完全にロック

■ 仕様 型式 ARB-220

- (1) 本体：本製品はアルミダイキャスト製。円形アルミ 3 部品と吊り手で構成。吊り手の調整にて腹起の中心にセットされる。
- (2) 製品重量：5.5kg
- (3) 耐力：60t
- (4) ストローク：25mm ストローク。本体は 60mm から 85mm まで。
- (5) 機構：円形楔機構を円周方向にスライド、伸縮させ、3 点支持楔で全荷重を受ける 3 次元体機構。球面座にて偏心角度 2° まで上下、左右、自由に対応。
- (6) 本体寸法：外形 220mm×厚み 60mm

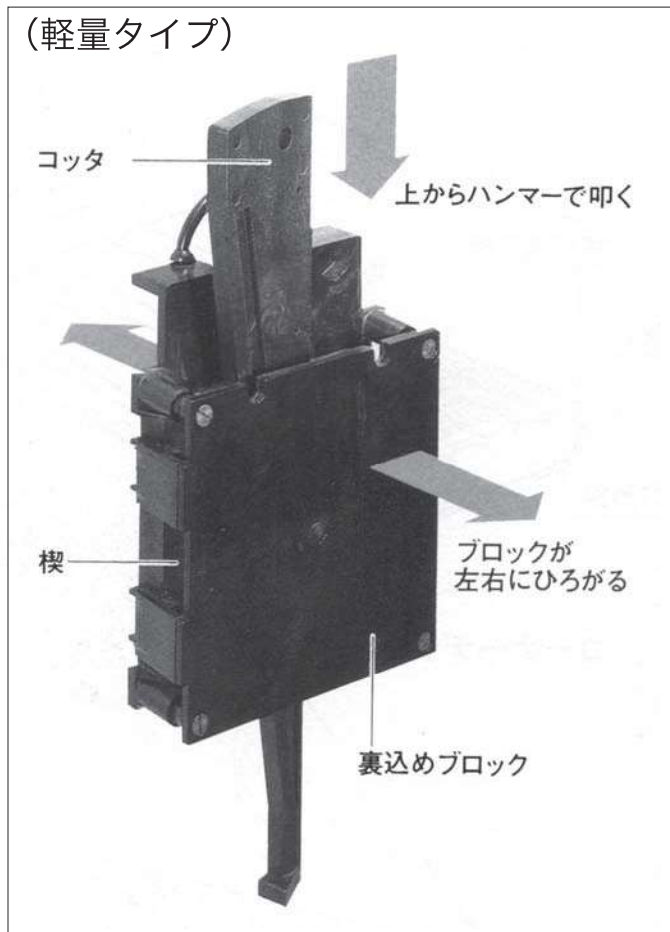


A ライナープレート (ポッチ付)
材質 硬質塩化ビニール
サイズ t20×200mm×200mm
重量 1.2kg



【裏込めブロック】

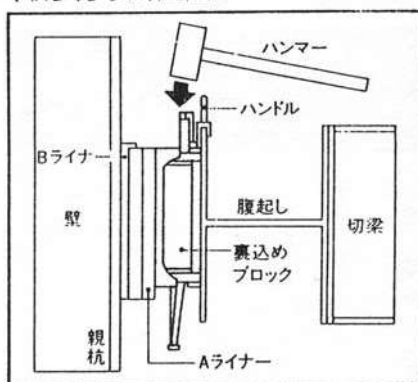
(軽量タイプ)



●HS 型裏込めブロックの諸元表

		軽量タイプ(プレロード 現場用)
本体	重量	約4kg
	上下板寸法	タテ・ヨコ 250mm
	ストローク	最小57mm～最大77mm
	材質	ポリカーボネイトと一部ABS樹脂
	テスト荷重	120t荷圧にて破壊
	許容荷重	50t
ライナー	Aライナー	タテ・ヨコ 250mm 厚さ 20mm
	Bライナー	タテ・ヨコ 250mm 厚さ 黒色 右10mm 左 3mm 赤色 右 3mm 左 10mm
	材質	高密度ポリエチレン

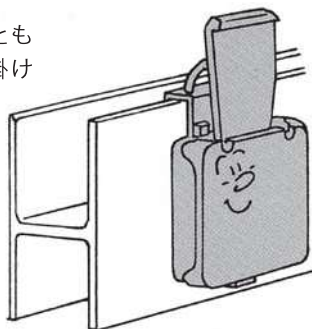
〈取り付け断面図〉



取付け

1 縮めた状態で腹起しに掛ける。

裏込めブロックを、もっとも縮めた状態で腹起しに掛けます。



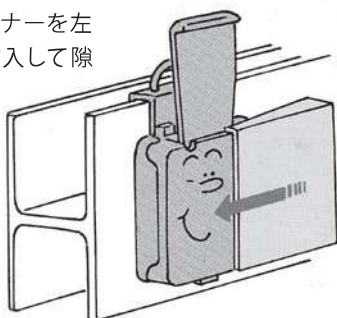
2 隙間にAライナーを挿入。

裏込めブロックと土留壁(シートパイル、H形鋼等)との隙間を埋めるため、Aライナーを挿入し、ライナーの突起部で止めます。



3 傾斜がある時は、Bライナーを挿入。

残った不定形の隙間や傾斜がある時は、傾斜付きのBライナーを左右から必要な枚数だけ挿入して隙間をなくしておきます。



4 コッターを強く打ち込む。

最後に裏込めブロックのコッターを強く打ち込んで、しっかり固定します。(5ポンドのハンマーで4～5回打ち込む程度で強力タイプは約10t、軽量タイプは約3tになります。)

